

## 第10回 諸外国における対日メディア世論調査 調査結果

新聞通信事業に関する調査研究、資料収集、講演会の開催などを行っている公益財団法人新聞通信調査会（理事長 西沢豊）は、2023年11月～12月に「諸外国における対日メディア世論調査」を実施、その結果を17日発表しました。

調査は、米国、英国、フランス、韓国、タイの5カ国において、各国約1,000人の回答を得ました。米国は電話調査とWEB調査の併用、英国、フランス、韓国は電話調査、タイは面接調査で行いました。「対日メディア世論調査」は2015年から年1回、6カ国で行っていましたが、今年度は中国での調査ができなくなりました。中国の他の調査機関にも依頼しましたが、いずれも現在の国内状況では、国外から依頼された世論調査を行うことは難しいとの回答でした。主な調査結果は以下の通りです。

### 世界の課題は「戦争終結」—米、英、韓、タイで1位

- ・最近の世界情勢を踏まえて、世界各国で連携して取り組むべき課題は何か尋ねたところ、昨年「戦争や地域紛争の終結・抑止」を1位に挙げたのは米国のみだったが、今回は米国、英国、韓国、タイの4カ国で1位、フランスでも3位から2位に上昇。割合は全5カ国で増加（2つまで複数回答）。
- ・フランスで1位の「国際テロ組織の撲滅」は、欧米3カ国では10年前後の増加、順位も上昇。
- ・昨年、英国、フランス、韓国で1位だった「地球環境問題」は、順位、割合ともに低下。（資料編1巻 図表1）

### 世界平和への脅威、韓国では「北朝鮮」が最多に

- ・現在、どの国が世界平和への最大の脅威になっていると思うか尋ねたところ、5カ国とも「ロシア」を挙げた人の割合が昨年より減少したとはいえ、米国、英国、フランス、タイでは1位だった。韓国では、「ロシア」「中国」の割合が減少し、「北朝鮮」を挙げた人が最も多く28.3%。
- ・米国では「中国」、英国では「中国」と「米国」、フランスでは「イラン」、韓国では「ロシア」、タイでは「イスラエル」が2位。（資料編2巻 図表2）

2024年2月17日  
公益財団法人 新聞通信調査会

## ガザ紛争—米国でも若年層は「イスラエルに責任あり」

・現在のイスラエル・パレスチナ情勢に責任があるのはどれか尋ねたところ、米国では「ハマス」が半数を占めたが、年代差が見られた。「イスラエル」に責任ありの回答割合は年代が低いほど高くなる傾向があり、20代では「ハマス」の割合を上回った。また、20代では「米国」14.1%も他の年代より高かった。(資料編3 図表3)

・韓国では「ハマス」が最多、次いで「イスラエル」。タイでは「イスラエル」が最多、次いで「ハマス」。なお、英国とフランスではこの質問はできなかった。英国の担当者からは「会社の方針として、情勢が緊迫しているなかで、このような質問はできない。」との回答があった。また、フランスの担当者からは、「フランス政府は国民に冷静になることを求め、ユダヤ人に向けられた暴力をやめるよう呼び掛けている。このテーマはとてもセンシティブなので、質問するのが難しい。」との回答があった。(資料編3 図表4)

## 韓国の対日好感度、過去最高を更新

・日本に対する好感度はタイ 91.1%、フランス 81.5%、米国 80.4%、英国 71.1%。前回と比べると、英国は 8.2 ㊦の低下。韓国の日本に対する好感度は、過去最高だった前回より 4.1 ㊦増の 44.0%。

・米国は自国、英国、日本、フランス、タイの順に、英国は自国、日本、フランス、タイ、米国の順に、フランスは自国、日本、英国、タイ、米国、韓国の順に 50%以上の好感度。

・韓国は自国、米国、英国、フランス、タイの順に、タイは自国、日本、英国、米国、フランス、韓国、中国の順に 50%以上の好感度。

・前回からの変化を見ると、ロシアに対する好感度はタイで 8.0 ㊦上昇したのをはじめ、5カ国すべてで上昇した。中国に対する好感度はフランスで 6.8 ㊦、韓国で 6.1 ㊦上昇した。また、米国はフランスに対する好感度、英国は日本、米国、フランス、タイに対する好感度、韓国は米国に対する好感度、タイはフランス、韓国に対する好感度が、それぞれ 5 ㊦以上の低下となった。(資料編4 図表5)

## 日本についての関心は韓国で上昇が続く

・日本のことが報道されると関心を持って見聞きするのは、タイで 78.0%と最も高く、次いで韓国で 77.9%。以下、フランス 52.3%、米国 51.4%、英国 30.6%。第8回調査から第9回調査にかけて、タイ以外の4カ国で上昇に転じたが、今回調査ではタイと韓国は上昇したものの、米国、フランス、英国は再び低下に転じた。(資料編5 図表6)

・日本に関する報道で、メディアに期待する内容を挙げてもらった。1位はタイを除く4カ国で「科学技術」、タイは「観光情報」。2位には、米国、英国は「国際協力や平和維持活動」、フランスは「生活様式や食文化」、韓国は「政治、経済、外交政策」、タイは「科学技術」が続いた。(資料編5 図表7)

## 新聞の情報信頼度、5カ国で低下

・新聞の情報をどの程度信頼しているかを、全面的に信頼している場合は100点、全く信頼をしていない場合は0点、普通の場合は50点として点数をつけてもらったところ、タイが61.7点で2.9点の低下、フランスが55.7点で0.1点の低下、米国が54.9点で0.5点の低下、韓国が51.9点で4.2点の低下だった。英国は46.1点で1.8点の低下だった。昨年7月に新聞通信調査会が実施した「メディアに関する全国世論調査」では、新聞の情報信頼度は66.5点だった。(資料編6 図表8)

・インターネットのニュースを見る時に、ニュースの出所を気にするか尋ねたところ、5カ国すべてで「気にする」(「いつも気にする」と「まあ気にする」の合計)の割合が、「気にしない」(「全く気にしない」と「あまり気にしない」の合計)を大きく上回った。「気にする」と答えた人は、タイが85.5%で最も多く、次いでフランスで84.9%、米国で84.6%。以下、韓国(72.1%)、英国(70.8%)となった。そのうち、「いつも気にする」のはフランスが63.2%で最も多く、次いで米国が50.0%。昨年7月に新聞通信調査会が実施した「メディアに関する全国世論調査」では、「気にする」と答えた人が47.1%、そのうち「いつも気にする」のは13.3%だった。(資料編6 図表9)

## メディアが政府を「率直に批判」—米国が6割近く

・メディアが政府を批判する際にどのように報道しているか尋ねたところ、「率直に批判する」(「やや率直に批判する」と「非常に率直に批判する」の合計)の割合は、米国で58.3%と最も多く、次いで英国で46.3%となり、両国では「控えめに批判する」(「非常に控えめに批判する」と「やや控えめに批判する」の合計)を上回った。一方、タイ、フランス、韓国では、「控えめに批判する」と答えた人が過半数を占め、「率直に批判する」を上回った。(資料編7 図表10)

## 新聞購読、電子版が世界の潮流に

・新聞を紙、電子版のどちらで読むかについては、5カ国とも「電子版のみ」が「紙のみ」や「両方」よりも多かった。英国は、この質問を始めた2018年度から初めて「電子版のみ」が50%を超えた。(資料編8 図表11)

・ニュース視聴の利用媒体は、米国、英国、フランス、韓国はテレビ、タイはSNS(facebook、Xなど)が1位(複数回答)。米国、韓国はインターネットのニュースサイト、英国、フランスは新聞、タイはテレビが2位。(資料編8 図表12)

## 調査の概要

### ●調査国と調査日程、調査方法、調査会社、調査地域

調査国	調査日程	調査方法	調査会社	調査地域
米国	12月1日～12月4日	電話調査 WEB調査 併用	SSRS	全国
英国	12月1日～12月13日	電話調査	IPSOS UK	全国
フランス	11月13日～11月25日	電話調査	CSA	全国
韓国	11月21日～11月29日	電話調査	Gallup Korea	全国
タイ	11月18日～12月18日	面接調査	IPSOS Thailand	バンコク、チェンマイ、 ウドーンターニー、 ソクラ

※電話調査では、複数回答の質問において、回答に偏りが出ないように、選択肢の読み上げ順をランダムにした。

### ●回収サンプルの構成

米国	男性	466	47.1%	韓国	男性	510	50.8%
	女性	524	52.9%		女性	494	49.2%
	10代(18-19歳)	8	0.8%		10代(19歳)	5	0.5%
	20歳代	135	13.6%		20歳代	120	12.0%
	30歳代	184	18.6%		30歳代	123	12.3%
	40歳代	200	20.2%		40歳代	173	17.2%
	50歳代	161	16.3%		50歳代	239	23.8%
	60歳代	184	18.6%		60歳代	212	21.1%
	70歳以上(70-95歳)	118	11.9%		70歳以上(70-80歳)	132	13.1%
合計	990	100.0%	合計	1,004	100.0%		
英国	男性	503	50.7%	タイ	男性	500	50.0%
	女性	490	49.3%		女性	500	50.0%
	10代(16-19歳)	41	4.1%		10代(18-19歳)	46	4.6%
	20歳代	131	13.2%		20歳代	234	23.4%
	30歳代	141	14.2%		30歳代	230	23.0%
	40歳代	149	15.0%		40歳代	260	26.0%
	50歳代	167	16.8%		50歳代	163	16.3%
	60歳代	172	17.3%		60歳代	59	5.9%
	70歳以上(70-95歳)	192	19.3%		70歳以上(70-76歳)	8	0.8%
合計	993	100.0%	合計	1,000	100.0%		
フランス	男性	491	49.1%				
	女性	509	50.9%				
	10代(18-19歳)	31	3.1%				
	20歳代	120	12.0%				
	30歳代	210	21.0%				
	40歳代	168	16.8%				
	50歳代	148	14.8%				
	60歳代	133	13.3%				
70歳以上(70-99歳)	190	19.0%					
合計	1,000	100.0%					

●質問一覧

質問	選択肢
<p><b>問 1.</b> あなたは、次の国々についてどう思っていますか。(回答はそれぞれ1つずつ)</p> <p>(1)米国 (2)英国 (3)フランス (4)ロシア (5)日本 (6)中国 (7)韓国 (8)タイ</p>	<p>1 とても好感が持てる 2 やや好感が持てる 3 あまり好感が持てない 4 全く好感が持てない</p>
<p><b>問 2.</b> あなたは、日本のことが報道されると関心を持って見聞きますか。(回答は1つ)</p>	<p>1 とても関心がある 2 やや関心がある 3 あまり関心がない 4 全く関心がない</p>
<p><b>問 3.</b> あなたは、次のことがらを自国のメディアが積極的に報道してほしいと思いますか。(回答はそれぞれ1つずつ)</p> <p>(1) 日本の政治、経済、外交政策 (2) 日本の国際協力や平和維持活動 (3) 日本の科学技術 (4) 日本の歴史と文化 (5) 日本の生活様式や食文化 (6) 日本のファッション、アニメ、音楽 (7) 日本の観光情報</p>	<p>1 積極的に報道してほしい 2 報道してほしい 3 あまり報道しなくてもよい 4 報道しなくてもよい</p>
<p><b>問 4.</b> あなたは、ふだんニュースをどの媒体で視聴していますか。あてはまるものをすべてお答えください。(回答はいくつでも)</p>	<p>1 新聞(紙面) 2 新聞(電子版、オンライン) 3 テレビ 4 ラジオ 5 インターネットのニュースサイト 6 SNS (facebook、X (旧 twitter) など) 7 雑誌</p>
<p><b>問 5.</b> あなたは、インターネットのニュースを見る時に、ニュースの出所(報道機関名などの配信元)を気にしますか。(回答は1つ)</p>	<p>1 いつも気にする 2 まあ気にする 3 あまり気にしない 4 全く気にしない</p>
<p><b>問 6.</b> 現在のあなたの日常生活において、新聞の情報をどの程度信頼しているか、点数でお答えください。全面的に信頼している場合は100点、全く信頼していない場合は0点とし、普通の場合を50点としてお答えください。「新聞を読まない」あるいは「分からない」場合でも、大体の感じでお答えください。</p>	
<p><b>問 7.</b> あなたは、自国の多くのメディアが、政府を批判する際に、どのように報道していると思いますか。(回答は1つ)</p>	<p>1 非常に控えめに批判する 2 やや控えめに批判する 3 やや率直に批判する 4 非常に率直に批判をする</p>
<p><b>問 8.</b> この中から選ぶとすれば、あなたは、現在、どの国が世界平和への最大の脅威になっていると思いますか。(回答は1つ)</p>	<p>1 米国 2 ロシア 3 ウクライナ 4 イスラエル 5 イラン 6 中国 7 日本 8 北朝鮮</p>
<p><b>問 9.</b> 最近の世界情勢を踏まえて、世界各国で連携して取り組むべき課題は何だと考えますか。(回答は2つまで)</p>	<p>1 戦争や地域紛争の終結・抑止 2 核兵器拡散の抑制 3 国際テロ組織の撲滅 4 各国間の経済格差の縮小 5 感染症拡大の抑制 6 地球環境問題</p>

質問	選択肢
<p>問 10. イスラエル・パレスチナ情勢の報道をいたり読んだりして、現在のイスラエル・パレスチナ情勢に責任があるのは次のうち、どれだと思いますか。(回答は1つ)</p>	<p>1 英国  2 フランス  3 米国  4 イスラエル  5 パレスチナ自治政府  6 ハマス  7 アラブ諸国  8 イラン  9 国連</p>

## 第10回 諸外国における対日メディア世論調査

2024年2月17日発行

発行 公益財団法人 新聞通信調査会

東京都千代田区内幸町2-2-1

日本プレスセンタービル1階

電話 03-3593-1081

# 資料編

## 世界の課題は「戦争終結」—米、英、韓、タイで1位

- ・ 最近の世界情勢を踏まえて、世界各国で連携して取り組むべき課題は何か尋ねたところ、昨年「戦争や地域紛争の終結・抑止」を1位に挙げたのは米国のみだったが、今回は米国、英国、韓国、タイの4カ国で1位、フランスでも3位から2位に上昇。割合は全5カ国で増加(2つまで複数回答)。
- ・ フランスで1位の「国際テロ組織の撲滅」は、欧米3カ国では10割前後の増加、順位も上昇。
- ・ 昨年、英国、フランス、韓国で1位だった「地球環境問題」は、順位、割合ともに低下。

図表1 世界各国で連携して取り組むべき課題 (問9)

	1位	2位	3位	4位	5位	6位
米国	戦争や地域紛争の終結・抑止 52.0(49.5) 1←1	国際テロ組織の撲滅 44.0(32.5) 2←4	地球環境問題 32.8(37.0) 3←3	核兵器拡散の抑制 32.3(39.6) 4←2	感染症拡大の抑制 21.8(23.6) 5←5	各国間の経済格差の縮小 15.3(17.1) 6←6
英国	戦争や地域紛争の終結・抑止 47.7(42.5) 1←2	地球環境問題 31.3(43.2) 2←1	国際テロ組織の撲滅 30.0(20.7) 3←5	核兵器拡散の抑制 22.2(26.9) 4←4	感染症拡大の抑制 20.4(18.0) 5←6	各国間の経済格差の縮小 17.5(27.7) 6←3
フランス	国際テロ組織の撲滅 44.8(34.8) 1←2	戦争や地域紛争の終結・抑止 41.8(34.4) 2←3	地球環境問題 35.4(42.1) 3←1	各国間の経済格差の縮小 27.0(26.1) 4←5	核兵器拡散の抑制 24.2(28.1) 5←4	感染症拡大の抑制 13.1(15.8) 6←6
韓国	戦争や地域紛争の終結・抑止 54.3(49.6) 1←2	地球環境問題 50.9(51.4) 2←1	核兵器拡散の抑制 35.2(39.6) 3←3	各国間の経済格差の縮小 18.3(20.5) 4←4	国際テロ組織の撲滅 16.9(11.6) 5←6	感染症拡大の抑制 14.3(17.6) 6←5
タイ	戦争や地域紛争の終結・抑止 56.2(42.0) 1←3	感染症拡大の抑制 32.2(46.5) 2←1	核兵器拡散の抑制 31.4(42.8) 3←2	各国間の経済格差の縮小 25.5(22.0) 4←5	地球環境問題 24.9(12.9) 5←6	国際テロ組織の撲滅 20.6(26.2) 6←4

※( )内は第9回調査の結果

※各国の最下段は順位の変動を示す。左側から今回順位、第9回調査の順位。

青字は順位が上昇、黒字は順位の変動なし、赤字は順位が低下。

## 世界平和への脅威、韓国では「北朝鮮」が最多に

- ・ 現在、どの国が世界平和への最大の脅威になっていると思うか尋ねたところ、5カ国とも「ロシア」を挙げた人の割合が昨年より減少したとはいえ、米国、英国、フランス、タイでは1位だった。韓国では、「ロシア」「中国」の割合が減少し、「北朝鮮」を挙げた人が最も多く28.3%。
- ・ 米国では「中国」、英国では「中国」と「米国」、フランスでは「イラン」、韓国では「ロシア」、タイでは「イスラエル」が2位。

図表2 世界平和への最大の脅威と思う国（問8） (%)

	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位
米国	ロシア 37.6(53.8)	中国 26.6(23.9)	イラン 12.8(3.6)	北朝鮮 9.3(11.7)	米国 7.3(5.3)	イスラエル 4.3	日本 1.2(0.5)	ウクライナ 0.9(1.3)
英国	ロシア 48.6(62.4)	中国 10.8(11.3)	米国 10.8(9.6)	イスラエル 8.8	イラン 7.5(1.3)	北朝鮮 5.3(5.3)	ウクライナ 0.6(0.9)	日本 0.4(0.3)
フランス	ロシア 40.5(51.2)	イラン 12.8(4.6)	イスラエル 10.2	米国 9.2(11.1)	北朝鮮 8.9(12.2)	中国 8.7(9.4)	ウクライナ 1.7(2.1)	日本 0.3(0.7)
韓国	北朝鮮 28.3(26.8)	ロシア 21.9(31.5)	中国 19.6(27.0)	米国 12.4(6.9)	日本 6.5(4.3)	イスラエル 6.1	イラン 2.2(0.6)	ウクライナ 0.7(0.1)
タイ	ロシア 21.8(48.5)	イスラエル 21.8	米国 15.4(7.6)	ウクライナ 10.5(15.7)	北朝鮮 10.4(12.6)	イラン 9.2(10.3)	中国 7.1(4.5)	日本 0.3(0.8)

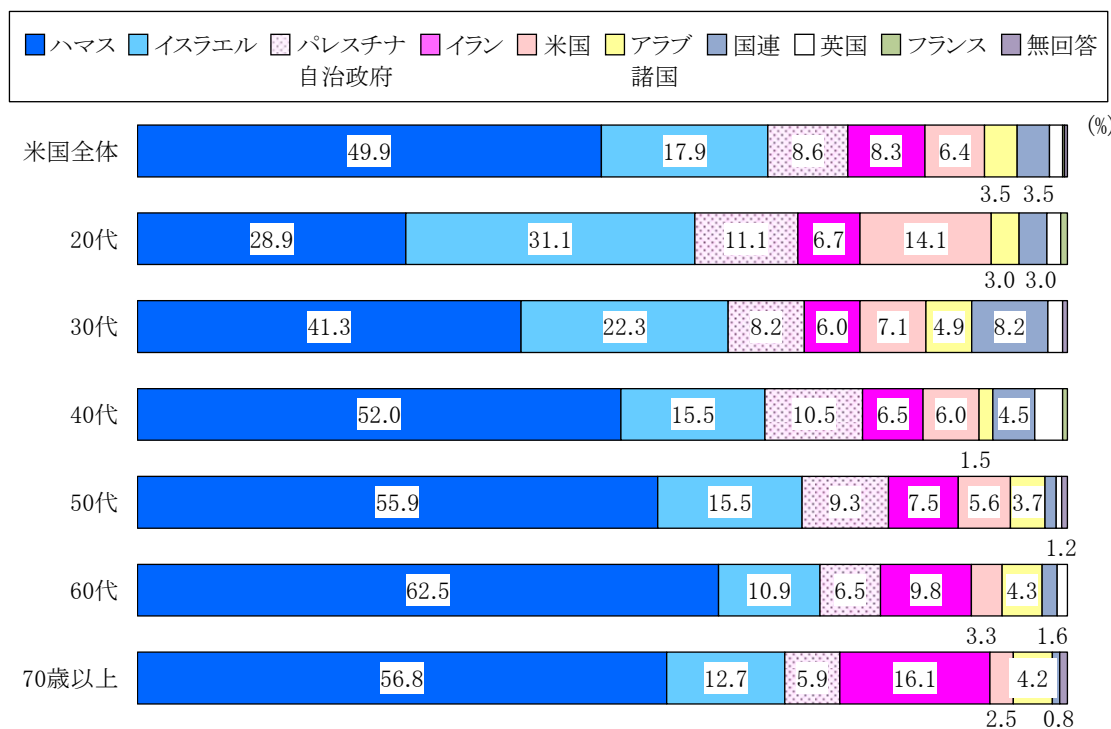
※( )内は、第9回調査の結果。なお、前回調査では「イスラエル」は選択肢になかった。



# ガザ紛争—米国でも若年層は「イスラエルに責任あり」

- ・ 現在のイスラエル・パレスチナ情勢に責任があるのはどれか尋ねたところ、米国では「ハマス」が半数を占めたが、年代差が見られた。「イスラエル」に責任ありの回答割合は年代が低いほど高くなる傾向があり、20代では「ハマス」の割合を上回った。また、20代では「米国」14.1%も他の年代より高かった。
- ・ 韓国では「ハマス」が最多、次いで「イスラエル」。タイでは「イスラエル」が最多、次いで「ハマス」。なお、英国とフランスではこの質問はできなかった。英国の担当者からは「会社の方針として、情勢が緊迫しているなかで、このような質問はできない。」との回答があった。また、フランスの担当者からは、「フランス政府は国民に冷静になることを求め、ユダヤ人に向けられた暴力をやめるよう呼び掛けている。このテーマはとてもセンシティブなので、質問するのが難しい。」との回答があった。

図表3 イスラエル・パレスチナ情勢への責任（問10）（米国・年代別）



図表4 イスラエル・パレスチナ情勢への責任（問10）

	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位
米国	ハマス 49.9	イスラエル 17.9	パレスチナ自治政府 8.6	イラン 8.3	米国 6.4	アラブ諸国 3.5	国連 3.5	英国 1.4	フランス 0.2
韓国	ハマス 31.2	イスラエル 20.0	米国 13.4	パレスチナ自治政府 6.9	国連 4.6	英国 4.5	イラン 4.5	アラブ諸国 4.2	フランス 0.1
タイ	イスラエル 25.0	ハマス 18.3	米国 14.6	国連 13.7	パレスチナ自治政府 11.6	アラブ諸国 4.7	英国 4.3	イラン 1.9	フランス 0.5

# 韓国の対日好感度、過去最高を更新

- ・ 日本に対する好感度はタイ 91.1%、フランス 81.5%、米国 80.4%、英国 71.1%。前回と比べると、英国は 8.2 ㊦の低下。韓国の日本に対する好感度は、過去最高だった前回より 4.1 ㊦増の 44.0%。
- ・ 米国は自国、英国、日本、フランス、タイの順に、英国は自国、日本、フランス、タイ、米国の順に、フランスは自国、日本、英国、タイ、米国、韓国の順に 50%以上の好感度。
- ・ 韓国は自国、米国、英国、フランス、タイの順に、タイは自国、日本、英国、米国、フランス、韓国、中国の順に 50%以上の好感度。
- ・ 前回からの変化を見ると、ロシアに対する好感度はタイで 8.0 ㊦上昇したのをはじめ、5カ国すべてで上昇した。中国に対する好感度はフランスで 6.8 ㊦、韓国で 6.1 ㊦上昇した。また、米国はフランスに対する好感度、英国は日本、米国、フランス、タイに対する好感度、韓国は米国に対する好感度、タイはフランス、韓国に対する好感度が、それぞれ 5 ㊦以上の低下となった。

図表5 各国間の好感度（問1）－「好感が持てる」と答えた人の割合

		1位 2位 3位 (%)							
【今回】		対象国							
		日本	米	英	仏	ロシア	中国	韓国	タイ
実 施 国	米	80.4	87.3	83.8	76.7	12.7	20.5	46.2	71.2
	英	71.1	60.8	77.1	67.0	12.4	24.5	40.5	61.5
	仏	81.5	68.4	79.9	85.7	23.2	34.1	61.6	70.3
	韓国	44.0	75.7	74.8	70.1	20.6	30.6	86.0	60.1
	タイ	91.1	80.8	87.2	78.0	38.6	63.1	66.7	96.5

		5ポイント以上の上昇 5ポイント以上の低下							
【今回－第9回】		対象国							
		日本	米	英	仏	ロシア	中国	韓国	タイ
実 施 国	米	-3.9	-0.3	-2.7	-6.6	3.0	-1.1	-3.3	-3.2
	英	-8.2	-5.6	-0.6	-9.1	2.3	-4.1	-2.8	-5.3
	仏	4.7	0.7	4.1	2.4	3.5	6.8	1.4	5.4
	韓国	4.1	-5.5	-1.6	-2.8	4.4	6.1	-2.4	3.6
	タイ	-3.6	1.2	-0.9	-8.0	8.0	2.6	-7.4	-0.2

【第9回】		対象国							
		日本	米	英	仏	ロシア	中国	韓国	タイ
実 施 国	米	84.3	87.6	86.5	83.3	9.7	21.6	49.5	74.4
	英	79.3	66.4	77.7	76.1	10.1	28.6	43.3	66.8
	仏	76.8	67.7	75.8	83.3	19.7	27.3	60.2	64.9
	中国	25.5	27.8	44.9	64.7	45.1	97.8	47.5	59.0
	韓国	39.9	81.2	76.4	72.9	16.2	24.5	88.4	56.5
	タイ	94.7	79.6	88.1	86.0	30.6	60.5	74.1	96.7

【第9回－第8回】		対象国							
		日本	米	英	仏	*	中国	韓国	タイ
実 施 国	米	5.3	*	2.6	3.7	*	-9.4	2.5	9.7
	英	6.0	0.3	*	10.3	*	-0.6	3.0	4.9
	仏	-1.3	-2.0	8.1	*	*	-5.2	3.1	1.8
	中国	-0.8	-1.2	-1.8	2.2	*	*	3.9	4.3
	韓国	8.7	0.2	1.3	2.8	*	1.5	*	-1.9
	タイ	1.3	-6.0	-3.4	-0.8	*	3.1	1.2	*

【第8回】		対 象 国							
		日本	米	英	仏	*	中国	韓国	タイ
実 施 国	米	79.0	*	83.9	79.6	*	31.0	47.0	64.7
	英	73.3	66.1	*	65.8	*	29.2	40.3	61.9
	仏	78.1	69.7	67.7	*	*	32.5	57.1	63.1
	中国	26.3	29.0	46.7	62.5	*	*	43.6	54.7
	韓国	31.2	81.0	75.1	70.1	*	23.0	*	58.4
	タイ	93.4	85.6	91.5	86.8	*	57.4	72.9	*

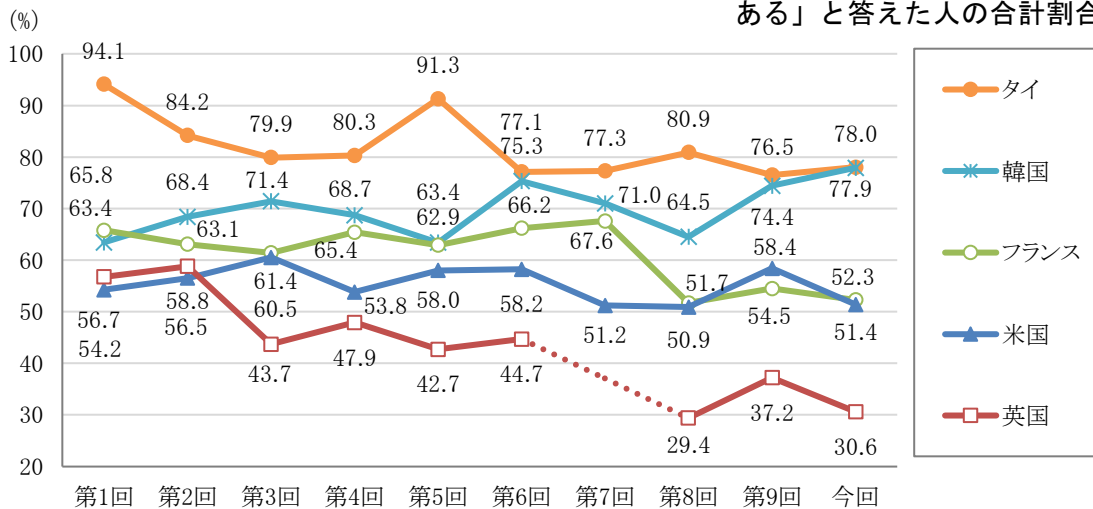
  

【第8回－第7回】		対 象 国							
		日本	米	英	仏	*	中国	韓国	タイ
実 施 国	米	-0.6	*	-3.1	-3.7	*	2.0	0.2	2.3
	英	*	*	*	*	*	*	*	*
	仏	0.3	17.5	-0.9	*	*	1.5	-3.7	-0.6
	中国	-13.4	2.4	0.7	-8.1	*	*	-10.4	-8.6
	韓国	-0.1	11.9	6.0	6.5	*	-3.0	*	5.7
	タイ	3.8	12.9	9.7	9.2	*	1.3	8.2	*

# 日本についての関心は韓国で上昇が続く

- ・日本のことが報道されると関心を持って見聞きするのは、タイで 78.0%と最も高く、次いで韓国で 77.9%。以下、フランス 52.3%、米国 51.4%、英国 30.6%。第 8 回調査から第 9 回調査にかけて、タイ以外の 4 カ国で上昇に転じたが、今回調査ではタイと韓国は上昇したものの、米国、フランス、英国は再び低下に転じた。
- ・日本に関する報道で、メディアに期待する内容を挙げてもらった。1 位はタイを除く 4 カ国で「科学技術」、タイは「観光情報」。2 位には、米国、英国は「国際協力や平和維持活動」、フランスは「生活様式や食文化」、韓国は「政治、経済、外交政策」、タイは「科学技術」が続いた。

図表 6 日本が報道されると関心を持つか（問 2） — 「とても関心がある」と「やや関心がある」と答えた人の合計割合



図表 7 メディアに期待する報道内容（問 3）

	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位	6 位	7 位
米国	科学技術 81.3 (84.0/79.5) 1←1←1	国際協力や平和維持活動 75.4 (79.0/70.0) 2←2←2	政治、経済、外交政策 67.5 (70.6/65.7) 3←3←3	生活様式や食文化 63.1 (64.5/56.2) 4←5←6	歴史と文化 62.9 (65.0/60.1) 5←4←5	観光情報 58.3 (62.4/60.2) 6←6←4	ファッション、アニメ、音楽 46.3 (49.3/43.2) 7←7←7
英国	科学技術 58.8 (61.8/55.8) 1←1←1	国際協力や平和維持活動 43.2 (51.7/43.6) 2←2←3	歴史と文化 42.9 (50.2/45.0) 3←3←2	生活様式や食文化 40.3 (48.0/43.0) 4←4←4	観光情報 34.5 (39.6/36.4) 5←6←6	政治、経済、外交政策 33.9 (42.1/37.2) 6←5←5	ファッション、アニメ、音楽 22.0 (26.7/25.3) 7←7←7
フランス	科学技術 50.0 (47.3/46.6) 1←1←1	生活様式や食文化 41.0 (38.1/35.1) 2←5←4	歴史と文化 39.0 (38.5/35.5) 3←3←3	国際協力や平和維持活動 37.5 (41.2/36.0) 4←2←2	政治、経済、外交政策 36.5 (38.4/34.5) 5←4←5	観光情報 32.1 (32.5/28.5) 6←6←6	ファッション、アニメ、音楽 23.7 (20.7/21.2) 7←7←7
韓国	科学技術 77.0 (80.7/81.1) 1←1←1	政治、経済、外交政策 74.6 (74.5/76.4) 2←2←2	国際協力や平和維持活動 70.2 (73.9/72.7) 3←3←3	歴史と文化 58.8 (58.7/52.8) 4←5←5	観光情報 56.1 (59.5/54.5) 5←4←4	生活様式や食文化 50.7 (52.6/47.9) 6←6←6	ファッション、アニメ、音楽 37.3 (41.3/35.3) 7←7←7
タイ	観光情報 87.6 (88.7/89.5) 1←1←2	科学技術 87.1 (88.1/90.9) 2←2←1	国際協力や平和維持活動 78.9 (81.1/82.6) 3←3←3	政治、経済、外交政策 74.0 (77.1/82.6) 4←5←3	生活様式や食文化 73.5 (79.9/82.1) 5←4←5	歴史と文化 67.0 (70.1/78.0) 6←6←6	ファッション、アニメ、音楽 63.2 (68.7/70.6) 7←7←7

※（ ）内は、左から第9回調査、第8回調査の結果

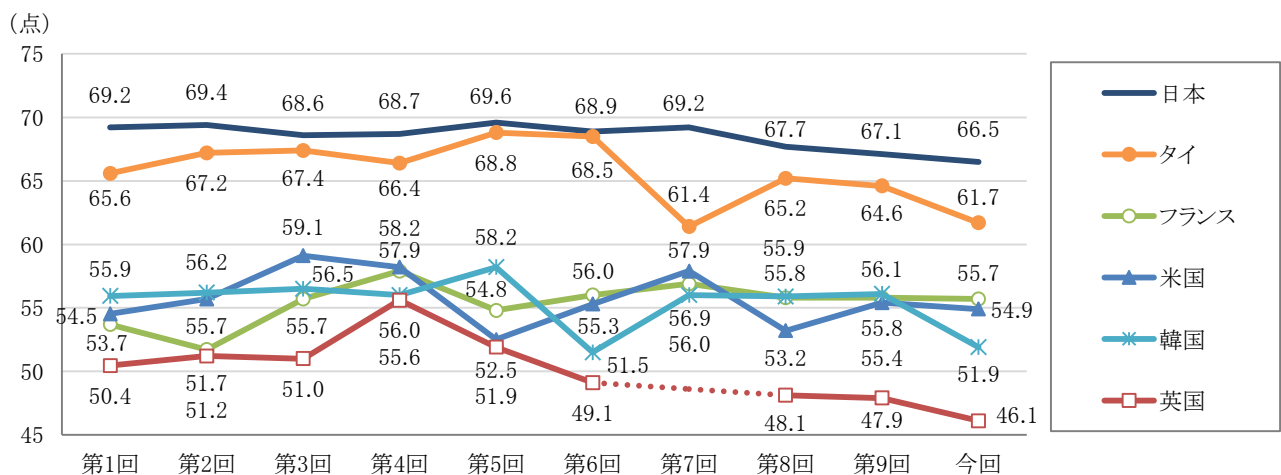
※各国の最下段は順位の変動を示す。左側から今回順位、第9回調査の順位、第8回調査の順位。

青字は順位が上昇、黒字は順位の変動なし、赤字は順位が低下。

# 新聞の情報信頼度、5カ国で低下

- ・新聞の情報をどの程度信頼しているかを、全面的に信頼している場合は100点、全く信頼をしていない場合は0点、普通の場合は50点として点数をつけてもらったところ、タイが61.7点で2.9点の低下、フランスが55.7点で0.1点の低下、米国が54.9点で0.5点の低下、韓国が51.9点で4.2点の低下だった。英国は46.1点で1.8点の低下だった。昨年7月に新聞通信調査会が実施した「メディアに関する全国世論調査」では、新聞の情報信頼度は66.5点だった。
- ・インターネットのニュースを見る時に、ニュースの出所を気にするか尋ねたところ、5カ国すべてで「気にする」（「いつも気にする」と「まあ気にする」の合計）の割合が、「気にしない」（「全く気にしない」と「あまり気にしない」の合計）を大きく上回った。「気にする」と答えた人は、タイが85.5%で最も多く、次いでフランスで84.9%、米国で84.6%。以下、韓国（72.1%）、英国（70.8%）となった。そのうち、「いつも気にする」のはフランスが63.2%で最も多く、次いで米国が50.0%。昨年7月に新聞通信調査会が実施した「メディアに関する全国世論調査」では、「気にする」と答えた人が47.1%、そのうち「いつも気にする」のは13.3%だった。

図表8 新聞の情報信頼度（問6）

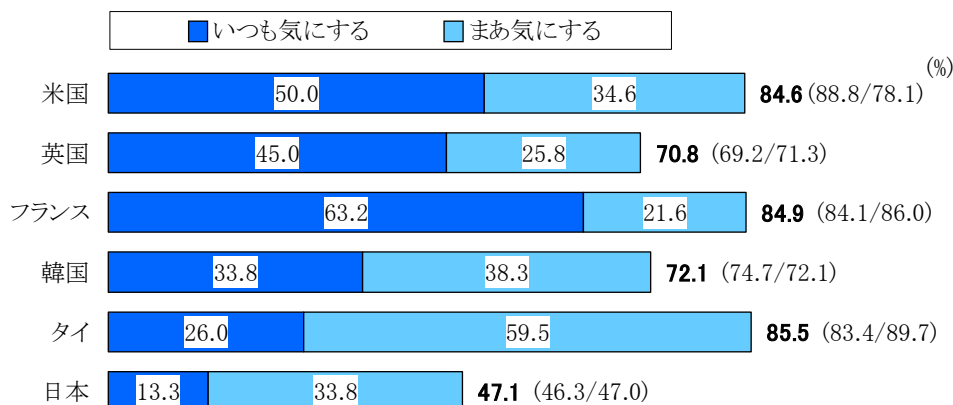


注1：米国は0点～10点で質問したので、回答の数値を10倍した。

注2：図表中の日本については「第16回メディアに関する全国世論調査（2023年）」より参考として表記。

「第16回メディアに関する全国世論調査（2023年）」は2023年7月に全国18歳以上の5,000人を対象に訪問留置法で行い2,871人（有効回収率57.4%）から回答を得た。以下同じ。

図表9 ネットニュースを見る時に、ニュースの出所を気にするか（問5）

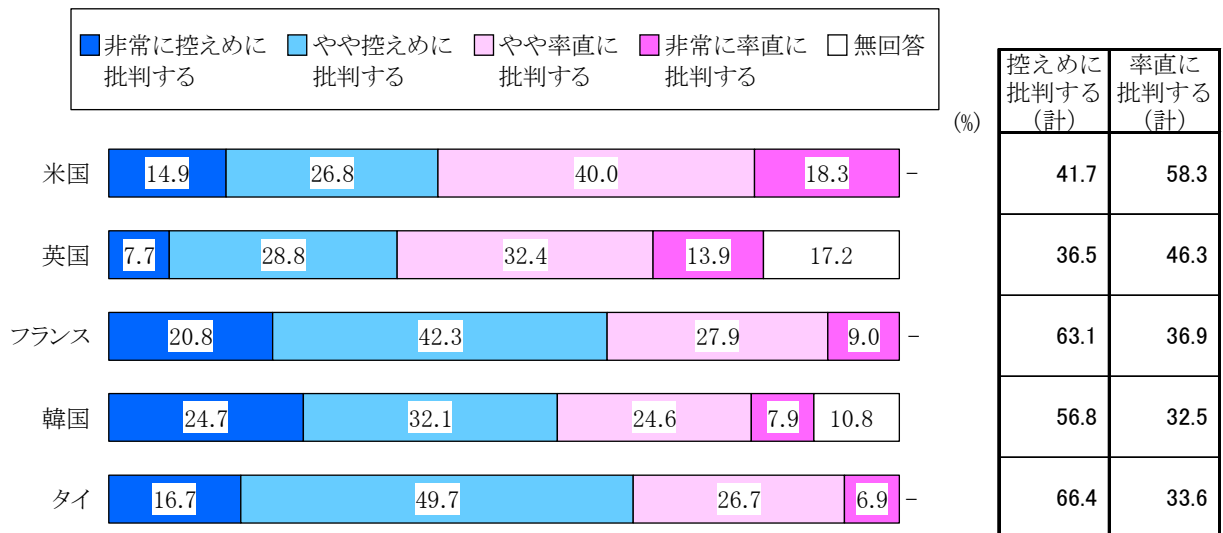


※棒グラフ右外の数字は「いつも気にする」と「まあ気にする」の合計値  
（ ）内は、左から第9回調査、第8回調査の結果

# メディアが政府を「率直に批判」—米国が6割近く

・メディアが政府を批判する際にどのように報道しているか尋ねたところ、「率直に批判する」（「やや率直に批判する」と「非常に率直に批判する」の合計）の割合は、米国で 58.3%と最も多く、次いで英国で 46.3%となり、両国では「控えめに批判する」（「非常に控えめに批判する」と「やや控えめに批判する」の合計）を上回った。一方、タイ、フランス、韓国では、「控えめに批判する」と答えた人が過半数を占め、「率直に批判する」を上回った。

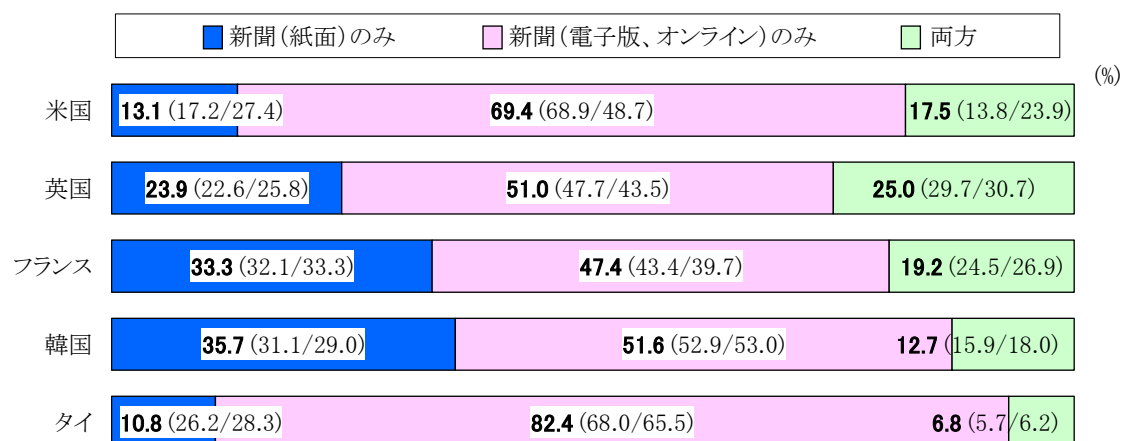
図表 10 メディアの自国政府批判姿勢（問7）



## 新聞購読、電子版が世界の潮流に

- ・ 新聞を紙、電子版のどちらで読むかについては、5カ国とも「電子版のみ」が「紙のみ」や「両方」よりも多かった。英国は、この質問を始めた2018年度から初めて「電子版のみ」が50%を超えた。
- ・ ニュース視聴の利用媒体は、米国、英国、フランス、韓国はテレビ、タイはSNS (facebook、X など) が1位（複数回答）。米国、韓国はインターネットのニュースサイト、英国、フランスは新聞、タイはテレビが2位。

図表 11 新聞を紙、電子版のどちらで読むか（問4）



図表 12 ニュース視聴の利用媒体（複数回答）（問4）

(%)

	1位	2位	3位	4位	5位	6位
米国	テレビ 61.8 (61.9/70.4)	インターネットのニュースサイト 60.0 (63.3/53.0)	SNS (facebook、X など) 50.8 (51.0/43.9)	新聞 48.5 (49.7/54.0)	ラジオ 31.7 (33.6/39.6)	雑誌 9.3 (10.8/16.9)
英国	テレビ 62.1 (62.6/68.9)	新聞 53.1 (56.9/61.0)	SNS (facebook、X など) 47.3 (49.0/44.7)	ラジオ 41.9 (49.9/48.3)	インターネットのニュースサイト 36.9 (35.4/32.8)	雑誌 11.2 (11.3/13.6)
フランス	テレビ 69.6 (75.9/75.6)	新聞 63.9 (67.2/68.6)	ラジオ 61.6 (67.6/63.9)	SNS (facebook、X など) 46.3 (43.7/45.5)	インターネットのニュースサイト 46.0 (45.0/50.1)	雑誌 24.8 (31.1/31.0)
韓国	テレビ 62.2 (65.8/68.9)	インターネットのニュースサイト 57.4 (59.5/65.6)	SNS (facebook、X など) 31.6 (32.6/26.9)	新聞 25.1 (28.8/33.8)	ラジオ 13.8 (12.5/15.5)	雑誌 2.3 (4.2/3.8)
タイ	SNS (facebook、X など) 92.3 (94.3/91.0)	テレビ 59.1 (85.3/83.4)	インターネットのニュースサイト 57.5 (53.2/49.2)	新聞 7.4 (12.2/11.3)	ラジオ 3.5 (8.8/14.9)	雑誌 1.1 (1.0/1.7)

※( )内は、左から第9回調査、第8回調査の結果